

\\ 筑紫野市の“いいね!”をお届けします //

ちくしの自慢^{じまん}

筑紫野市の
自慢を毎月
ご紹介します!

問 秘書広報課

今月の自慢!

04

450年以上の伝統を、次の世代へ。

やま え いわ と かぐら

山家岩戸神楽

本市唯一の郷土芸能として受け継がれてきた山家岩戸神楽。市指定無形民俗文化財として50周年を迎え、地域の誇りを未来へつないでいます。



ここが自慢!

- ✓ 地域の人々が大切に守り続け、毎年10月17日に山家宝満宮神楽殿で奉納される
- ✓ 神話をもとにした演目では、力強い舞や繊細な所作によって神々の世界が表現される。間近で見る舞は迫力満点
- ✓ 笛や太鼓が舞に合わせて響き渡り、神楽の世界をより深く演出
- ✓ 地域の力によって、450年以上の歴史が今も受け継がれている

市唯一の郷土芸能



本市唯一の郷土芸能として昭和51年に市指定無形民俗文化財に指定され今年で50周年を迎えました。地域を代表する貴重な文化財です。

受け継がれる神楽



「宝満宮宮座縁起」によると、その始まりは弘治3年(1557年)ごろ。450年以上もの長い歴史の中で受け継がれ、現在も山家宝満宮で奉納されています。

神話の世界を舞で表現



山家宝満宮で18ある演目のうち13番が奉納されます。神々の物語を表現する舞や所作、笛や太鼓の音色が神楽の魅力です。

保存会が未来へつなぐ伝統



一度途絶えた神楽は昭和29年に復興され、現在は山家岩戸神楽保存会の皆さんが大切に継承しています。地域の力が伝統を支えています。

保存会の皆さんから

伝統を守り、次の世代へ。

山家岩戸神楽は、地域の皆さんに支えられながら受け継がれてきました。これからも伝統を守り、次の世代へつないでいけるよう活動を続けていきます。ぜひ山家宝満宮で、受け継がれてきた舞をご覧ください。

山家岩戸神楽を見に行こう!

- 奉納日 毎年10月17日
- 時間 13時~16時(予定)
- 会場 山家宝満宮神楽殿
- ※ 筑前山家駅から徒歩約20分
- ※ 会場には駐車場はありません。

